

市長定例記者会見報告事項概要

令和4年9月26日(月) 午前10時00分～

1. 「新庁舎建設に係る アートプロジェクト お披露目会」について

- 新庁舎の工事現場には、白い仮囲いが設置されているが、この仮囲いを大きなキャンパスに見立て、市内中学校の美術部による「防府の未来」を描いた絵画作品を展示することとしている。
- このたび、作品が完成したので、9月29日(木)午後4時20分から展示お披露目会を開催する。
- 中学生のまちづくりへの想いととも、庁舎建設の槌音を未来へと響かせていきたい。

2. 「デジタルの日イベント」について

- 10月2日(日)、3日(月)は「デジタルの日」。これは昨年デジタル庁が設立されたことから、新たに始まったものである。
- 防府市では、10月2日(日)に、「デジタルの日イベント」を笑顔満開通り ルルサス防府1階の「ルルサス文化センター」で開催する。
- デジタルに触れる催しをご用意し、皆様のご来場をお待ちしている。
- そのほか、市広報10月1日号の表紙のように、10月からデジタルの取組が一斉に花開くこととなる。

3. 「証明書自動交付機の設置と交付手数料の新設」について

- コンビニ交付サービスに対応した証明書の自動交付機を、市役所4号館1階に2台設置し、10月2日(日)から稼働する。

- これに伴い、10月から、マイナンバーカードを使って、コンビニエンスストア等の自動交付機で防府市が発行する各種証明書を取得する場合の手数料を、一律150円とする。
- 戸籍の証明書は窓口で発行すると450円かかる。150円という金額は、全国的にも安価な、市民のニーズにあった設定と考えている。

4. 「公民館遠隔相談システムのモデル導入」について

- 現在、市内のすべての公民館では、タブレット端末による市役所窓口とのオンライン相談を実施している。
- より充実した機能を搭載した「遠隔相談システム」を、富海、小野、大道の3つの公民館をモデルに、10月3日（月）から実証運用を開始する。
- 相談の場面では、書類や資料、図面を細かく確認する際に、従来のオンライン相談では限界があったが、新たなシステムでは、大きな画面に手元の書類を映し出して、画面上で書き込みできるようになる。
- 新しいシステムによる相談は、「国民健康保険」、「税金」、「自治会活動」など8つの分野が可能である。
- 各公民館では、実務に詳しい職員が、利用者の用向きをあらかじめお尋ねし、相談システムへスムーズにつなげる「橋渡し役」を担うことから、市役所職員を配置している3館を「モデル公民館」として運用する。
- この実施を通じて、ノウハウの蓄積、運用のルール作りを進めて、必要に応じて拡大したいと考えている。
- 運用初日となる、10月3日（月）には、小野公民館で報道関係者向けのデモンストレーションを実施する。

5. 「キャッシュレス決済」について

- 日々の暮らしにおいて、キャッシュレス決済が普及している。
- これに対応するため、窓口でのキャッシュレス化を進めるものである。

6. 「電子図書館のオープン」について

- 実用書、文学、絵本・児童書などの分野から、900タイトルを取り揃えている。
- この中には、暮らしに役立つ実用書や、「ズッコケ3人組」などの防府図書館の人気図書が入っている。
- 年内には、1,000タイトルまで拡大することとしている。

7. 「LINE 公式アカウント」について

- デジタルを活用した新たな情報発信ツールとして、10月から開設する。
- この公式アカウントは、スマートフォンで市政情報を簡単に入手できる、いわば「窓口」の役割を果たすものである。
- 公式アカウントの開設を契機に、今以上にデジタルによる情報発信に力を入れていくこととしている。

8. 「バイオマスプラスチックごみ袋の導入」について

- 本市における、カーボンニュートラル実現の取組の一環として、市の指定ごみ袋に、植物由来のバイオマスを10%使用した、新しいごみ袋を導入する。
- このごみ袋を使用することで、二酸化炭素排出量が、従来と比較して1

0%、年間約55トン削減することができる。

- このごみ袋は、市内120の取扱店舗で、従来のごみ袋の在庫がなくなり次第、販売を開始する。

9. 「防府の水 新ラベル登場」について

- 防府市の水道水を原水とするボトルウォーターに、新たなラベルが加わる。
- このたび登場するデザインは、「佐波川、防府天満宮、毛利邸」をあしらったもので、市内在住の木版画家 檜垣良之（ひがきよしゆき）氏の作品によるものである。
- 「幸せます」ラベル、「山頭火」ラベルに続く、3つ目のラベルで、「防府の水はおいしい」ということをしっかりとPRしていく。

10. 「オミクロン株対応ワクチンの接種」について

- 国から前倒しで供給される「オミクロン株対応ワクチン」による先行接種を、9月29日（木）から、平日の夜間と土曜日の日中に「JA会館」の集団接種会場で開始する。
- 先行接種の対象者は、4回目接種対象者の方 約1万人、及び、エッセンシャルワーカーのうち、小中学校、保育園・幼稚園などの関係者、約2,000人となる。
- また、各医療機関で実施される個別接種については、10月4日（火）以降、準備の整った医療機関から接種を開始していただくこととしている。
- 接種券については、先行接種対象者、約2,000人の方に、本日送付

し、以降、順次発送する。

- 3回目又は4回目の接種券を既にお持ちの方で、未接種の方については、オミクロン株対応ワクチンの接種に関するお知らせを、個別に送付し周知を図っていく。
- 来月半ば以降には、対象者全員分のワクチンが順次、配送されることから、10月21日（金）からは、JA会館の集団接種会場を日中にも開設し、年内の実施完了を目指してワクチン接種を加速していく。

1.1. 「令和4年度9月追加補正予算の概要」について

- 補正予算総額は、8億円となっている。
- 一つ目は、「台風14号関連の災害復旧事業」で、河川等の復旧工事に、3,000万円を計上している。
- 二つ目は、「電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業」で、国の決定に対応して、物価高騰による影響が大きい世帯に、1世帯あたり5万円を給付することとし、7億7,000万円を計上している。

1.2. その他

- 10月を迎え、「スポーツの秋」、「行楽の秋」の季節がやってくる。
- 山頭火ふるさと館の特別企画展は、10月7日（金）からは、後期展示が始まり、有名な「荒海や 佐渡によこたう 天の河」を書いた芭蕉直筆の掛軸などが展示される。
- 昨年初めて開催した、「ほうふスポーツフェスタ」を10月16日（日）に開催する。
- 去年は、コロナの影響で大きな制約を受けながら開催したが、今年は、

野球体験や、レノファ山口によるサッカー教室など、種目が各段に増え、実質的には、「今年が第1回目」と言える規模での開催となる。

- 開催にあたってはコロナ対策をしっかりと講じていく。
- 10月29日（土）からは、毛利博物館の国宝展が開幕する。
- 毛利博物館が所蔵する国宝「山水長巻」は、現在、山口県立美術館で展示されているが、こちらは16メートルの巻物の半分ずつ展示されることになっている。
- 毛利博物館の国宝展では、入館料1000円で16メートルすべてを一度に鑑賞できる。国宝「山水長巻」が見たい方は、是非毛利博物館にお越しいただきたい。
- 防府駅周辺の賑わいも、この秋、さらに盛り上がっていく。
- 7月に一部開通した、市道栄町藤本町線は、残りの区間についての地権者との調整が進んでおり、令和6年3月には整備が完了する見通しである。